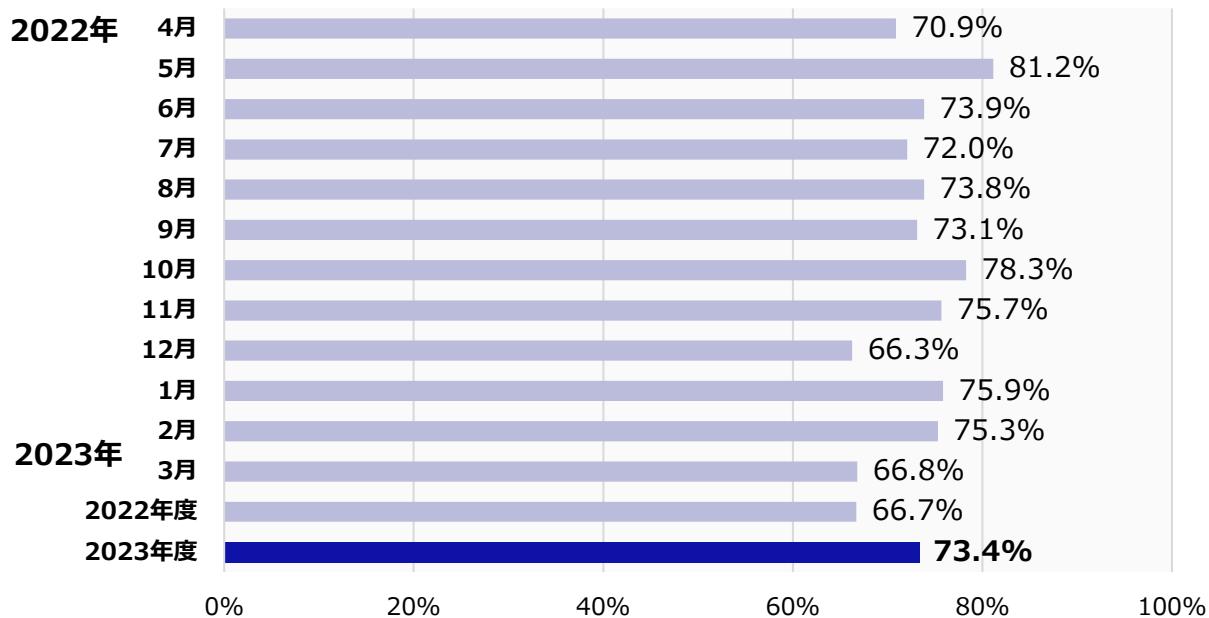


入退院支援加算1の算定割合

早期に退院支援の必要性の有無や退院に向けた課題、目標、支援内容について抽出を行い、退院支援計画書を作成することで、より質の高い退院支援を行うため。また、退院支援計画書を患者・家族へ渡すことにより理解が深まると考えます。

退院支援計画書を作成するに当たって、早期(3日以内)に退院支援の必要性の有無や退院に向けた課題・目標・支援内容について抽出を行い、7日以内に退院支援カンファレンス(病棟の看護師及び病棟に専任の退院支援職員並びに退院支援部門の看護師及び社会福祉士等が共同する)を実施しています。



当院値の定義・算出方法

$$\frac{\text{分子 : 入退院支援加算1の算定件数}}{\text{分母 : 退院患者数}} \times 100 \text{ (%)}$$

結果の考察と今後のとり組み

- ①コロナ禍で新規患者は減少傾向であったが退院支援状況確認表を用いて対象者を細かく把握し実施件数増に努めました。
- ②病棟看護師が支援内容の抽出や退院支援カンファレンスに積極的に参画しています。
- ③「MSWの専任を増やし、職員の病欠や不在に対応できる体制」を作ったことで閑数の増加が認められました。

文責 : 医療相談室
今井 俊介